

# 公文書 すっきり管理

岩内町「ファイリング」導入へ研修

ファイリングシステム導入のため開かれた岩内町の研修会



る。

この日の研修には8月までに導入する1期目の総務財政課などの職員計46人が出席。行政文書管理改善機構の広田伝一郎理事長が各課で実際のキャビネットの配置やファイル方式などを決め、手元にある書類を順次、キャビネットに移すよう求めた。

次回の6月24日には各課で点検し、改善点などの指導を受ける。9月から11月までに導入する2期目は税務課など90人が対象で、6日に初回の研修を行う。

町は「自分たちでやり方を考えることにより課内の共通認識を育て、円滑な移行を目指す」としている。

(高橋浩志)

【岩内】町は公文書をわかりやすく分類する「ファイリングシステム」の導入のため、5日から職員の研修を始めた。2期に分け、11月までに全庁での実施を目指す。

ファイリングシステムは、公文書などをフォルダ（書類入れ）に挟んで、キャビネット（書類引き出し）で一括管理する方式。担当者が個別に管理するより、書類を探す手間が省けるため、全国の自治体で導入が進んでいる。